

特集2 製造 Special Issues 2 Manufacturing



執行役員 生産本部長
葛 西 誠 司
Seiji Kassai
Executive Officer
Production

日本無線のモノづくりへの取り組み

JRC's Activities in Manufacturing

当社は、海事衛星無線装置、レーダー、業務用無線機、GPS受信機など、世界の海、陸の通信を支える機器、装置、システムを開発、製造し、社会に提供してきました。そして、世界市場での競争力を高め、お客様が満足して頂けるモノづくりにこだわってきました。

当社は、93年の歴史があります。世界の人と人とのコミュニケーションに永遠に貢献するためには、その93年間に蓄積された通信機器製造技術に、常に新風を吹き込んでいくことが重要であります。即ち、製造業として効率的な生産システムと高度な製造要素技術等を継続的に追求することが必要不可欠と考え、日々邁進しています。

当社の生産部門は、生産管理、資材調達、製造の3つの要素で構成されており、生産活動における品質・信頼性、及び生産性を向上させ、お客様が要求されるQCDに応えるよう努力しています。具体的活動として、数年前より生産改革に取り組み、目標として、「生産・製造技術を向上させ、受注から出荷まで継続的で効率的な当社独自の生産システムを構築する」を掲げ、実現に邁進しています。

本技報では、生産改革活動で得られた生産・製造技術の中で特徴的なテーマを紹介いたします。大枠として、

- (1) 過酷な環境で使用される通信機器のモノづくり
 - (2) 高品質、高信頼性を実現する製造技術
 - (3) 生産性向上を追求した製造技術
- に分けて紹介いたします。

(1)では、信頼性、安全性を確保する為に、三鷹製作所を中心とした一貫生産、厳しい条件による検査を行ないながら造り込んでいく製造技術、そして、筐体、アンテナの溶接技術と組立技術等について船舶レーダー、インフラ用無線装置を例に挙げ述べます。

(2)では、SAWフィルターの周波数調整方式、高密度化が進むプリント配線板の分析、そして、今後期待される放熱機能を持ったプリント配線板について紹介します。

(3)では、ITS機器における「見える化」を駆使した生産管理システム、環境にやさしい当社独自のトレイ循環型生産システム、生産性を追求したインマルサット機器生産ラインの構築について述べます。

当社の生産部門は、絶え間なく発展する通信技術、通信装置、通信システムを支え、顧客満足度を高める為に、優れた生産・製造技術を継続的に向上させることに情熱を傾け、社会の発展に貢献していきます。